

公益財団法人 岡山工学会
第 38 回 (令和 8 年度)

特別研究助成申請書

「内山勇三科学技術賞」

年 月 日

公益財団法人 岡山工学会 御中

| | | | | |
|------------------|--|-----------------------------------|------|---------------------------|
| ① 研究題目 | | | | |
| ② 研究代表者 (申請者) | ふりがな 氏名 | | 生年月日 | 昭和 平成 年 月 日 (申請時 歳) |
| | ③ 所属機関・職 | | | |
| | ④ 専 門 | | | |
| | ⑤ 最終学歴 | (昭和・平成・ 令和 年卒) | | |
| | ⑥ 学 位 | (種類・取得大学・取得年) | | |
| | ⑦ 連 絡 先 | (〒 -) (TEL) [内線] E-mail: | | |
| ⑧ 推 薦 者 | 所属機関 _____ 所在地 _____ 役職 _____ ふりがな 氏名 _____ (印) | | | |

⑨研究活動の全容 (現在取り組み中、及び取り組み予定の研究課題とその概要など、あなたの研究活動の全体像がわかるように記入してください。)

⑩申請テーマの研究目的と必要性 (着想のどこが新奇か、また研究活動全体の中から特にこのテーマを選んで申請した理由、及び岡山県における科学技術社会の発展に寄与することが具体的にわかるよう記入してください。)

① 研究計画の概要 (研究目的を達成するための研究計画, 方法を具体的になるべく箇条書で記入してください。
研究が複数年にわたる場合には、(第1年度)、(第2年度)として記入してください。)

⑫ 研究の実施状況 (すでに行っている研究の経過・現在の進捗状況等についてご記入ください。)

⑬ この研究に関する国内及び国外における研究状況

⑭ この研究に関連する研究実績及び特許取得・申請状況

⑮ 共同研究者の略歴

| ふりがな 氏 名 | 所属機関・職 | 専 門 | 最終学歴（卒業年次） | 学 位 |
|-------------|--------|-----|------------|-----|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

⑯A 研究経費全体の概要（既存の設備備品等、他の研究費の充当、当財団の助成経費などの関係がわかるように記入してください。）

| ⑩B 研究経費 (⑩A の内、当財団の助成経費について使途科目別に具体的に記入してください。) | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 科目 | 品 名 | 規 格 | 数 量 | 金 額 | 備 考 |
| 設備 備品 費 | | | | | |
| | 計 | | | | |
| 消 耗 品 費 | | | | | |
| | 計 | | | | |
| 旅 費 | | | | | |
| | 計 | | | | |
| 謝 金 | | | | | |
| | 計 | | | | |
| そ の 他 | | | | | |
| | 計 | | | | |
| 合 計 | | | | | |

| ⑰ 本研究課題に関する他の助成機関への申請の状況 | | | | | |
|--|--------|-------|---------|-----|------|
| 機 関 名 | 助成金の名称 | 申請者氏名 | 研 究 課 題 | 金 額 | 助成期間 |
| | | | | 千円 | |
| 他の助成機関への申請に加えて本助成に応募する理由と研究内容の相違点 | | | | | |
| | | | | | |
| ⑱ 他の機関からの助成金受領の状況（最近5年間の実績）金額の上段に()書きで令和7年分を記載ください。 | | | | | |
| 機 関 名 | 助成金の名称 | 申請者氏名 | 研 究 課 題 | 金 額 | 助成期間 |
| | | | | 千円 | |
| これまでに助成された研究の成果と本研究課題との関連，ならびにその他参考となる事項 | | | | | |
| | | | | | |

⑱研究業績

最近 3 年間の主要な論文を年代の新しいものから順に番号を付けて記載し、本課題に関連する論文名の番号には○印を付け、その別刷（または写し）を添付してください。形式は、原則として、著者名、論文題目、掲載誌名（年）ページ、の順とします。

<例>

- 1) Taroh Okayama, Tsuguo Hiroshima, Goroh Tottori, "Machine recognition of fingerprints with topological analysis" , J. Electronic Security, Vol. 14 (2007) 215-221.
- 2) 岡山太郎, 広島次夫, 香川三郎, “解剖学的所見に基づく顔の自動認識” 電子情報学会論文誌, 第 37 卷 (2005) 1247-1252.